

令和6年度 やまがた社会貢献基金助成事業 活動報告書

団体名	NPO 法人山形県リサイクルポート情報センター		
事業名	酒田港でのリサイクル物流の活性化(酒田港の新たな飛躍に向けたリサイクル物流の取組み)		
助成事業区分	団体支援助成事業		
団体の 所在市町村	酒田市	事業費	1,378,432 円
		うち助成金額	950,000 円
事業実施期間	令和6年5月28日～令和7年3月31日まで		

事業目的・実施内容	(事業目的) 当NPO法人は、設立当初より国土交通省、山形県および酒田市などの行政とともに、酒田港の経済活動活性化とリサイクルポート機能を十二分に発揚する事を目的とし、毎年、酒田港国際資源循環フォーラムを開催し、各種啓蒙活動に取り組んでまいりました。本事業では、山形県民および多数の企業の皆様方から広く当NPO法人とリサイクルポート酒田港を活用していただくことで、酒田港の更なる利用活性化を生み出し、山形県内全体の経済の発展につなげることを目的にしております。
	(実施内容) 当NPO法人は、主に酒田港がリサイクルポート指定を受けた優位性を活かしながら、山形県内の経済発展のため、山形県内から発生するリサイクル品の広域販売・処理促進(ビジネスマッチング)に向けた事業を行っております。私たちは県内外の様々な分野のリサイクル関連事業者と共同して、リサイクル品がうまくビジネスとして展開される事業活動により、長期的に継続可能な循環型社会の構築を目指すことを目的としました。
	① 山形県内外への酒田港利用PR。(物流拡大) ② 山形県内における循環資源のリサイクル物流情報の調査、実情把握。(情報収集) ③ 山形県内外におけるリサイクル品の営業支援。(販路拡大)



事業の成果	1. 山形県内外への酒田港利用PR（物流拡大） 「酒田港オンライン・ライブ見学会」を行い、共に酒田港見学ツアーガイドサービス事業を行いました。加えて「第11回酒田港国際資源循環フォーラム」を開催しました。 ① 酒田港見学ツアーガイドの実績 令和6年度実績 実施件数 56団体1,155名 ② 酒田港国際資源循環フォーラムの実施 参加人数： 65名（内オンライン参加者 13名） 2. 山形県内における新たな循環資源のリサイクル物流情報の調査、実情把握（情報収集） ① リサイクルポート推進協議会主催の港湾見学会への参加 ② リサイクルポート推進協議会広報部会参加（令和6年度4回、内3回はオンラインにて参加） ③ リサイクルポート推進協議会主催リサイクルポートセミナーへの事務局参加 ④ リサイクルポート四港勉強会への事務局参加 3. 山形県内外におけるリサイクル品の営業支援（販路拡大） 酒田共同火力発電株式会社および東北電力株式会社能代火力発電所で発生する石炭灰（フライアッシュ、クリンカアッシュ）のリサイクル活用について、行政および民間企業への販路拡大支援を実施しました。 ① フライアッシュを再生砕石としての活用 ・フライアッシュをセメント等と混合し、土木資材として再生した製品を、製造企業と合同で販路拡大およびリサイクル量の増加を図りました。 ② クリンカアッシュを砂代替品として活用 ・酒田共同火力発電株式会社および東北電力株式会社能代火力発電所で発生するクリンカアッシュについて、主に砂代替品として、道路用路床材および土地造成盛土材として、行政および民間企業への販路拡大を実施しました。 特に、能代火力発電所のクリンカアッシュについては、船舶で能代港積込し、酒田港揚げの荷役計画から出荷まで担当しており、酒田港でのリサイクル物流の活性化に貢献しております。 4. 酒田北港緑地展望台指定管理
今後の展望	山形県内の経済活性化に酒田港利用PR強化とリサイクル品の営業支援は、企業誘致に伴う雇用の増大および若年層の県内定着化等、今後、必要不可欠であると思う。それには、長期的に継続可能なビジネスマッチングを確実に展開することで、酒田港の活性化につながるものと考ええる。



団体概要

団体名 NPO法人山形県リサイクルポート情報センター

代表者 理事長 佐藤 清

URL [NPO法人山形県リサイクルポート情報センター \(shonai-recycle.jp\)](http://shonai-recycle.jp)

令和6年度山形県NPO活動促進補助事業

収支精算書

事業の名称	『酒田港でのリサイクル物流の活性化』 (酒田港の新たな飛躍に向けたリサイクル物流の取組み)
団体名	NPO法人山形県リサイクルポート情報センター

1 収入の部 (単位：円)

区分	精算額	内容
県補助金	950,000	令和6年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入		
その他収入		
自己資金	428,432	NPO法人会費
合計	1,378,432	

2 支出の部 (単位：円)

区分	精算額	内容
謝金		
旅費	338,837	車両燃料費、JR運賃、宿泊費等
印刷製本費		
消耗品・材料購入費	143,267	名刺作成費用、事務用品、複合トナー代等
通信運搬費	528	資料郵送費等
保険料		
使用料	577,100	事業車両リース費、複合機レンタル代等
人件費	300,000	
(委託費)	18,700	広告掲載費等
(備品購入費)		
(修繕費)		
合計	1,378,432	